

令和 7年度 事業計画書

事業局課	下水道河川局	施設管理課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
歳出予算科目	下水道事業会計収益の支出	1	款	1	項	3	目	政策番号	38
事業名称	水再生センター事業								
								施策番号	1

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳					
		国	県	諸収入	東京電力HD賠償金	企業債	下水道使用料等
令和7年度	19,902,982			2,919,182	74,050		16,909,750
補助事業							0
単独事業							0
令和6年度	20,420,638			3,224,969	87,760		17,107,909
増△減	△ 517,656	0	0	△ 305,787	△ 13,710	0	△ 503,946

支出	令和4年度	令和5年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
事業費	16,471,626	20,368,348	16,751,626	16,821,626	16,891,626
企業債+下水道使用料等	14,123,606	17,871,573	14,240,510	14,310,510	14,380,510
事業費	16,088,839	16,380,820			
企業債+下水道使用料等	14,509,747	13,760,160			

事業概要 (アクティビティ)	11か所の水再生センター、2か所の汚泥資源化センター及び2か所の工場排水処理場の維持管理。							
事業指標	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
水再生センター 高級処理水量 (高度処理含む)	単位	目標	542,022	543,496	541,453	541,066	540,672	
	千m ³ /年	実績	518,317	508,496				
水再生センター 雨水排水量	単位	目標	39,964	39,964	39,964	39,964	39,964	
	千m ³ /年	実績	37,820	19,213				
水再生センター 汚泥処理量	単位	目標	85,500	85,700	85,400	85,300	85,200	
	DSt/年	実績	81,500	80,870				
事業目的	公共用水域の水質保全を図るため汚水を処理後放流するとともに、雨水を速やかに排水することにより、市民を浸水の危険から守る。また、汚水を処理する工程で発生する汚泥は、燃料化物の製造及び脱水焼却し減量化を図っている。							
背景・課題	雨水及び汚水を排除することを目的として事業を開始し、その後、昭和45年の下水道法改正において、公共用水域の水質保全が目的に追加された。							
根拠法令・方針決裁等	地方自治法、地方公営企業法、下水道法、横浜市下水道条例、水質汚濁防止法、公害対策基本法、神奈川県生活環境の保全に関する条例、大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、公害健康被害保障法							
根拠・データ等	令和5年度水再生センター等運転管理年報							
事業スケジュール	通年							
事業開始年度	昭和37年							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	7年度	6年度	差引(増減)	増減説明
	①	処理場事業	19,902,982	20,420,638	▲ 517,656
②				0	
③				0	
④				0	
⑤				0	
⑥				0	
⑦				0	
⑧				0	
⑨				0	
⑩				0	
	細事業合計	19,902,982	20,420,638	▲ 517,656	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	南部管理担当
	大橋 洋明	阿部 雅之	黒山 雅樹